

GLOBAL REPORT <各国繊維・ファッション生産事情>

→ 2021.08 インド編 ←

報告者

ニッセンケン 本部 事業推進室

岩田純治
Junji IWATA



インドの繊維産業の歴史は古く、17世紀にはヨーロッパ諸国が東インド会社を設立し、繊維原料や香料等を世界に輸出していました。インド中央部にもともと良質な綿花栽培地帯を有し、今なお綿原料の生産量はアメリカと拮抗し世界第一位を争っています。

政治的な側面では、1947年のイギリスからの独立運動により、ヒンズー教主体のインドとイスラム教主体のパキスタンに分離独立して現在に至っています。日本はその独立戦争の際に『間接的にインド独立に貢献した』と同国から認められ、さらに宗教的にも近いことから親日路線の政治的な関係が続いています。そして2014年には、約60年間国政を担ってきた国民党からモディ首相率いるBJP（インド人民党）に政権が移り、“Make in INDIA”をスローガンに一気に国としての成長を目指しています。

現在、貿易赤字の解消に向けて主力輸出産業である繊維原料・繊維製品の拡大路線を図っており、日本向けでは当財団との品質向上や貿易促進に向けての覚書にも調印しています。

1. 直近20年間のインド製品の動向

2001年～2020年の日本におけるインドからの繊維製品の総輸入金額及び輸入金額順位とシェア率 **金額：百万円**

	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
輸入金額	13,278	ランク外	10,841	11,639	15,373	19,850	17,926	18,905	17,994	17,919
インド順位	9位	ランク外	10位	9位	8位	8位	8位	6位	6位	6位
インド製品シェア率	0.60%	ランク外	0.50%	0.50%	0.60%	0.70%	0.70%	0.70%	0.80%	0.80%

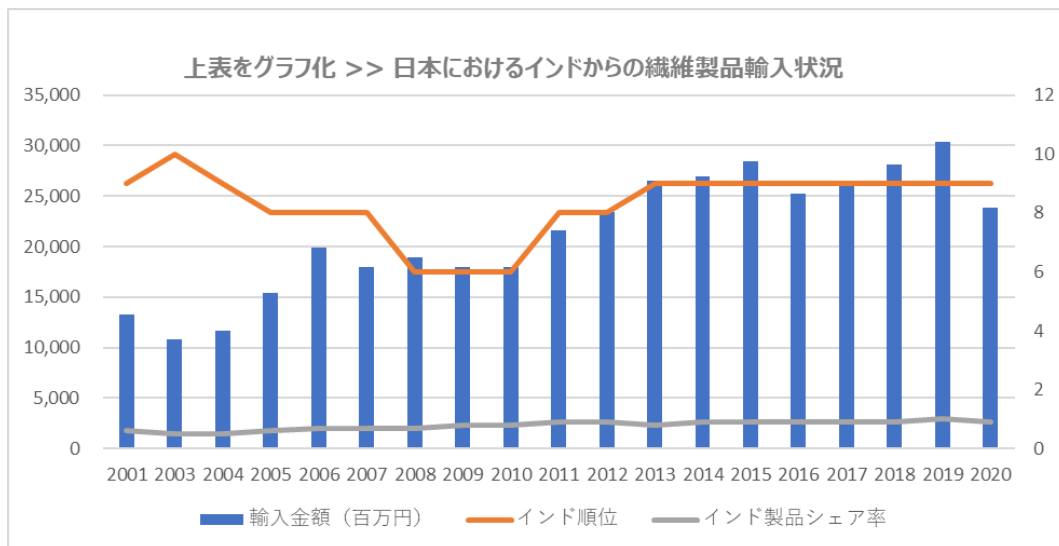
	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
輸入金額	21,625	23,391	26,478	26,969	28,419	25,216	25,983	28,097	30,377	23,825
インド順位	8位	8位	9位	9位	9位	9位	9位	9位	9位	9位
インド製品シェア率	0.90%	0.90%	0.80%	0.90%	0.90%	0.90%	0.90%	0.90%	1.00%	0.90%

出典：日本繊維輸入組合 ウェブサイト【統計】より

1990年代からの経済の自由化・開放化を促進する政策によって、世界的規模で見れば順調に繊維製品の輸出を増やしています。しかし、対日本という捉え方をすると20年間で約2倍程度しか伸びておらず遅いスピードです。

特に2010年頃からのチャイナプラスワンの動きを考えると、ベトナム（約

3倍）カンボジア（約4倍）バングラデシュ（約4倍）ミャンマー（約3.7倍）に大きく差をつけられ、2011年8月の日印包括的経済連携協定（EPA）署名により繊維製品の関税が撤廃されたものの、いまだ伸び悩んでいます。



2. 今後のインド製品の生産動向

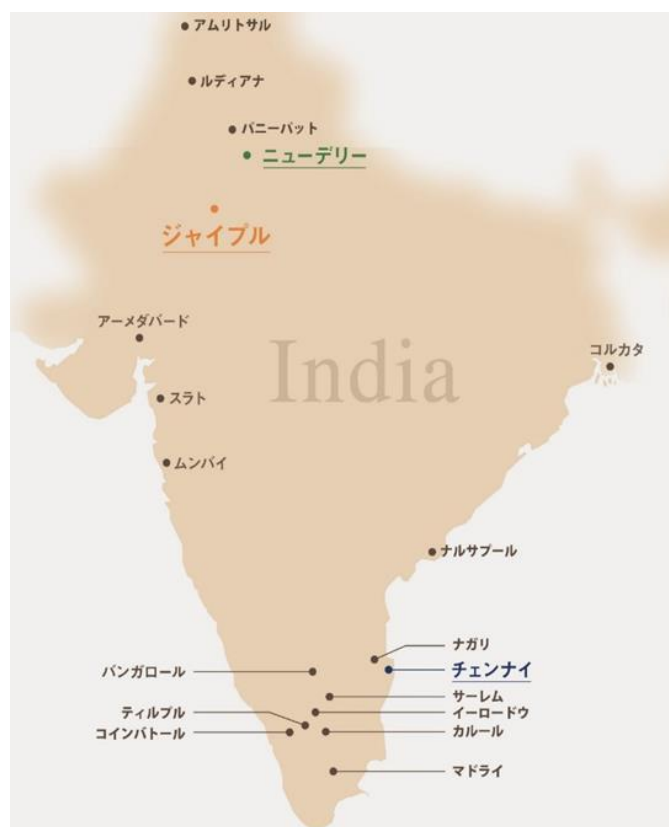
（1）生産地域で見た動向

繊維製品の対日輸出が増えていない現状ですが、古くから培われている潜在的な繊維産業のインフラは他の繊維大国に負けないものを持っています。

インドは中国同様に大変国土が広く、現在、日本向けに貿易をしている地域は非常に限られています。特にインドを東西南北に分けて見ていくとデリー・ジャイプル中心の北インドからの輸入が約90%あります。

逆にバンガロールやコイナトールを中心とした南インドで日本向け製品の発注を見ることは少なく、大手ナショナルチェーンが大規模工場中心に生産をしています。手工業的な設備も多いものの、今後は生産のための機械や設備が整ったいわば工業製品的に衣料品を生産しやすい南インドの動向が日本との関係を左右すると思われます。

下図に示すように『産地』と呼ばれる都市が多数存在し、まだまだ日本にとって未開拓の地が多いと言えます。



都市名		特徴
アムリトサル	Amritsar (北インド)	ウール素材
ルディアナ	Ludhiana (北インド)	カットソー・冬物生地全般
パニーパット	Panipat (北インド)	ホームテキスタイル・ホームファニッシング
ジャイプル	Jaipur (北インド)	スクリーンプリント
コルカタ	Kolkata (東インド)	カディ・シルク
アーメダバード	Ahmedabad (西インド)	ポリエステル・綿100番手双糸・200番手双糸・デニム生地
スラト	Surat (西インド)	ポリエステル生地全般
ナルサプール	Narsapur (南インド)	かぎ針編み
ナガリ	Nagari (南インド)	40番手単糸×40番手単糸 生地全般
バンガロール	Bangalore (南インド)	シルク・ボトム工場
サーレム	Salem (南インド)	先染め・40番手双糸
イーロードウ	Erode (南インド)	先染め・プリント
ティルブル	Tiruppur (南インド)	カットソー
コイナトール	Coimbatore (南インド)	紡績産地・300番手・SUVIN
カルール	Karur (南インド)	ホームテキスタイル・ホームファニッシング・秋冬素材 20番手双糸
マドライ	Madurai (南インド)	タオル・アンダーウェア

（２）生産アイテムで見た動向

日本では、インド製品と言うと夏中心の布帛商品のイメージが強いですが、実はカットソーを中心としたニットアイテムも多数生産されて欧米向けに輸出されています。上図の南インドのティルプールでは充実した設備を備えた工場が多数あり、糸から製品まで一貫して生産しており品質も世界的に見て引けを取りません。

また古くから欧米諸国との貿易が盛んで、その関係からサステナブルな生産システムや認証を持つ工場が多いのも特徴です。以下に、当財団が日本での認証機関となっているエコテックス®をはじめ、南インドでよく取得されている認証をご参考までに紹介します。

1. Sustainable Textile Production (STeP) by OEKO-TEX®

エコテックス®は 350 種以上の有害物質を対象とした世界最高水準の安全な製品の証明をはじめ、生産にたずさわる人や環境への負荷にも配慮したサステナブルな工場の認証など、繊維ビジネスにおける、世界に通ずる安全の証です。認証の 1 つである「STeP(ステップ)」は、Sustainable Textile Production の頭文字からなる名称で、繊維製品を生産する工場や企業がいかに持続可能な体制であるかを証明する認証です。製品の安全証明である「スタンダード 100 認証」に加え、さらに包括的な視点として、生産工場の環境問題や化学物質管理、また従業員の安全・衛生への取組みについて焦点が当てられるようになり、会社の資質が大きく問われており、新たなステージへ進むために不可欠な生産工場全体のサステナビリティ証明として、本認証は世界で急速に広がっています。

また「MADE IN GREEN (メイド イン グリーン)」は、環境や働く人に配慮されたサステナブルな工場 (STeP 認証) で作られた世界トップレベルの安全性が確認された製品 (スタンダード 100 認証) で、一本の糸から最後の縫製・加工まで、製造に関わったすべての拠点がラベルの QR コードからチェックできるようになっています。



2. Global Organic Textile Standard (GOTS)

繊維製品を加工する際のオーガニック基準です。糸、生地、衣類などが対象となり、ウールやコットン、絹などの原料繊維がオーガニックであることだけでなく、繊維の収穫から製造、流通全ての過程で自然環境や労働環境等に配慮されていることを証明しています。

3. NSF/ANSI 336 certification (Sustainability Assessment for Commercial Furnishings Fabric)

ホテル、オフィス、病院等で使用される室内装飾品や寝具に使用される繊維製品について、生産工程での社会的基準や環境基準が維持されることを証明しています。繊維がどのように供給されたか、生地が安全であるか、製造工程でのエネルギーと水の節約、社会的責任、リサイクルなどが考慮されているかどうかについて評価します。

4. Global Recycled Standard

GRS 認証は、最終製品に使用されるリサイクル材料の量を証明しています。その使用量によって認証が分かれ、ブロンズが 30%未満、シルバーが 70%～95%、ゴールドが 95%～100%であることを意味します。リサイクルポリエステルや RePET 素材の証明に比較的よく使用され、主にスポーツウェアやコットン/RePET のファブリックブレンドで見られます。

5. Better Cotton Initiative (BCI)

従来の綿花生産がもたらす様々な負の影響へ対処するために作られた持続可能性プロジェクトです。世界中で利用されており、綿花栽培における環境的・社会的な課題を改善することを目的としています。

6. Cradle to Cradle

完全にリサイクルが可能な製品であること、生分解性の製品であること等を証明するものです。人や環境に害を及ぼさない製造プロセスで製造された製品を示します。

7. Fair Trade

後進国における小規模生産者と農業従事者の持続可能な開発を支援する特定の社会的・環境的・経済的基準を製品が満たしていることを示しています。国際フェアトレードラベル機構が中心となって運営されており、先進国でのフェアトレードコットン製品の購入を促しています。

8. Bluesign®

繊維産業で生産される製品に、有害な化学物質が含まれていないことを証明する認証です。製造過程でのエネルギーや水資源の利用、化学物質の使用、大気や水質の影響、労働者の健康と安全に配慮していることが求められます。

9. Higg Index

Sustainable Apparel Coalition によって開発された Higg Index は、生産者がサステナブルなものづくりを行う上で、サステナビリティパフォーマンスを正確に測定およびスコアリングできるようにするツールです。工場労働者、地域社会、環境等を保護するための改善を行う手法を提供します。

10. Green Product Mark Certification

環境配慮された製品であることを証明するラベルです。ラベリングスキームにある認証基準は、製品に関するライフサイクル指標に基づいています。環境汚染の予防、資源の持続可能な利用、気候変動緩和のために取られた措置等をチェックします。

※各認証に関する記載内容は、主にそれぞれの英文ウェブサイトを参考にさせていただいています

(3) 貿易上の課題に対する日印両政府の動向及び、ニッセンケンの活動

インドと日本の繊維製品の貿易（インドから日本への輸出）が飛躍的に増えるためには、日本人が求める「品質・価格・アイテム」のニーズを満たすことが第一であり、とりわけ、南インド地区に数多くある優良工場の積極的な開拓が急務と考えています。

ニッセンケンは 2014 年にインド・ジャイプルに進出してから、常にインド生産のメリットや魅力をお伝えするとともに、日本企業にもっとインドで生産していただけるよう、品質安定化のサポートに取り組んできました。そのかいあってか、ニッセンケン試験ラボがあるジャイプル周辺の現地工場やサプライヤーからの当財団への認知度・信頼度は高くなってきました。しかし、前述したとおりインドはとても広く、次の段階であるインド全土を見据えた飛躍的発展を遂げるための方法を模索していました。

同時期に日印政府では EPA 発行後の繊維製品の貿易額の伸び悩みが議論に上がっており、2019 年 12 月には梶山弘志経済産業大臣とインド・ゴヤル商工大臣との間で“日印産業競争力パートナーシップ”が締結され、さらなる貿易促進に動きはじめています。

この両国政府間の流れの中で、ニッセンケンの一連の活動が認められ 2021 年 1 月にはインド政府と日本の品質基準の伝承・貿易拡大のための情報共有等に関する覚書を交わし、当財団では、日本からインドへ進出する企業に対しての情報提供や、インド企業への品質安定化のためのサポートなど各種活動を加速させています。さらに最近では南インドの雑貨メーカーと協力してリサイクル PET 素材のエコバックの開発を始めるなど、従来の検査団体の枠にとらわれない幅広い活動にチャレンジしています。

インドにおける当財団の強みとして、以下の3点が挙げられます。

①ISO 試験にも対応

JIS の基本的な試験はもちろん、欧米向け製品の ISO 試験もお任せください。ISO 17025:2017 (NABL)認定試験所です。

②日印連携で技術アドバイス

日本人および現地スタッフの連携により、現地メーカーへの迅速な対応と的確な技術アドバイスをを行います。

③コンサルティングサービス

現地の優良工場のご紹介をはじめ、修正点や品質向上のためのアドバイスなど、各種コンサルティングに力を入れています。

インド政府との連携（JIS の普及等）をふくめ、今まで培ってきた知見・技術で品質管理全般に関するサポートを行っています。インド生産をお考え、またインド生産でお困りの皆様からのお問い合わせやご相談をお待ちしております。

以 上

> 本レポートに関するお問い合わせ・ご質問等はお手数ですが下記までお願いいたします。

◎ インド事業 お問い合わせ窓口 / 本部 事業推進室 岩田純治

〒111-0051 東京都台東区駒形 1-2-14 駒形ウインドビル 2F

TEL : 090-1627-4214 E-mail : j-iwata@nissenken.or.jp

.....
一般財団法人ニッセンケン品質評価センター インド ジャイプル事業所のご案内
.....

住所 ▶ F-209, Epip, Sitapura Industrial Area, Jaipur, Rajasthan, 302022 INDIA

電話 ▶ +91-141-3003680 Fax ▶ +91-141-3003681

E-mail ▶ jaipur@nissenken.or.jp

